

令和7年(2025)9月例会のご案内

2025.8.6

皆さま、いかがお過ごしですか、9月例会は、下記のテーマ「都営地下鉄大江戸線清澄白河駅構内の対抗壁を飾る“大壁画アート”ほか」の講演会と見学会を開催します。大江戸線が2000年12月に開通してから四半世紀経ちますが、様変わりしたところもあり、解説付きで実地をご案内します。知人をお誘いの上で、万象お繰り合わせのうえご参加下さい。

NMC(異業種交流会)理事長 小川啓介

記

講師及び講演テーマ；樋口正一郎氏『大江戸線「清澄白河駅構内壁面」ほか』

ホーム壁面は樋口正一郎によるパブリックアート「20世紀文明の化石」が全面に設置され、20世紀の高度経済成長期に江東区で多く生産された工業製品のスクラップ再利用物が展示されている。4番線は左からビッグバンに始まる宇宙・銀河系・太陽系・日本列島誕生、東京・江東地区、地下鉄など都市再生、1番線は左から東京の街・公共交通・自動車・工業・金融・コンピュータ・愛と続いて未来の展望、それぞれを表現している。

開催日時 ; 2025年9月25日(木曜日) 開場 13:00より

講演(13時30分~14時45分)後に一駅移動して~清澄白河駅構内壁面見学
~都立清澄庭園散策(16:30入園終了17:00閉園)後に有志懇親会あり

開催会場 ; FUKAGAWA GARAGE(フカガワガレージ)

〒135-0033 江東区深川2-2-3 TEL03-6458-5273 添付地図参照。

参加費 ; NMC会員無料 非会員 500円

講師紹介 ; 樋口正一郎先生

*造形作家、都市景観研究家、パブリックアート研究者 1944年北海道生まれ。68年東京芸術大学美術学部彫刻科卒業。68年から70年まで、東京大学都市工学科大谷研究室研究生。69年5月第9回現代日本美術展コンクール優賞受賞。70年渡米、デビッド・スペクター・アーキテクト・オフィス(NYC)勤務。82年以降、造形活動の傍ら、欧米におけるパブリックアート、パブリックデザインに関心を寄せ、また、近年ではアジアなども含め、その対象も建築、橋、ランドスケープ、ストリートファニチュアなど都市の最新動向を多岐に渡り写真撮影と情報収集を行い、著書、新聞、雑誌、広報誌などで紹介している。



於；廣澤美術館「樋口正一郎展—何故いま地球か—」R7.4.1~6.7

【申込み先】非会員の方は宮崎知子；tomiyaz0613@yahoo.co.jpにお申込みください。

会場（フカガワガレッジ）ご案内



1. 大江戸線門前仲町駅下車で6番出口（エレベーターあり）赤札堂ビルに出ます。
2. 右に見える首都高速をくぐって直ぐを右折する。（ファミマあり）
3. 黒いマンションの手前を左折する。
4. 二軒先を右折して、道のドンズマリの右側がフカガワガレッジオフィスです。



講演会後は、門前仲町駅から清澄白河駅へ移動、駅構内の壁画を見学します。その後、清澄白河駅から5分ぐらいの清澄庭園へ行って、庭園散策（17:00閉園）をしましょう。

（入園料 一般150円、65歳以上70円）

その後は、近くのお店で打ち上げを致しましょう。 幹事；宮崎知子・高橋節子 以上